

#30 Enjoy Speaking 4

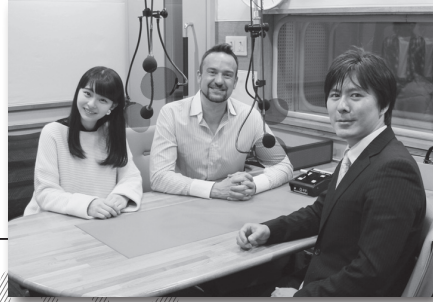
Things You Like

Speaking

講師
工藤 洋路
(学習メモ執筆)

今日の学習のゴール

これまでに学習した表現や文法を用いて、自分の好きなことを相手にすすめることができる。



右から、講師の工藤洋路先生、じえいそんさん、川口ゆりなさん

今回の学習のポイント

「物事」を説明する場合は、そのことを相手が（全く）知らないということを想定して、どんな説明をすると効果的か考えてみましょう。

特に、自分の好きな物事を説明する場合は、最後に、それをおすすめする表現を加えると、より効果的な説明になります。

「カラオケ」の説明をしてみよう！

I：かずま君がおこなった最初の説明

Do you like karaoke? Let's go to karaoke together. Let's sing lots of songs.

【よい点】 Let'sが2回出てきて、「一緒にカラオケしよう」とすすめているイメージが出ています。最初がDo you like karaoke? という疑問文でスタートするので、聞き手が注目できます。

【改善点】 「クラスに来た、日本のことをあまり知らない外国人留学生」が聞き手だとすると、「カラオケ」という言葉も知らない可能性が高いので、この説明では伝わりません。

II：かずま君とゆりなさんがおこなった2回目の説明

A karaoke machine plays music with no vocals, and there are lyrics on a TV screen, and we sing songs. You feel like you are a real singer while singing at karaoke.

【よい点】 カラオケがどんなもので、それを使うと何ができるか、そして、どんな気持ちになるか、ということを具体的に伝えています。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

ゆりなさんのおすすめのもの

I like photography. I take pictures of my food, my friends and beautiful scenery. If you are interested, I can show you how I take nice pictures.

【よい点】「興味があれば」という相手を考慮した表現を使って、おすすめをしています。

かずま君のおすすめのもの

I'm interested in escape rooms. You are locked in a room with your friends. The things in the room are clues to getting out. We all work together to escape. Do you want to come with us next time?

【よい点】「エスケープルーム」を知らない人にもわかるように具体的な説明をしています。

Door to Success

複数の視点から説明しよう

- 何か物事を説明するときは、相手がそのことを知らないということが多いです。
- 知らない人に説明をするわけなので、複数の視点から説明したほうが、わかってもらえる可能性が高くなります。
- 複数の視点の例として、「①全体像」「②具体的説明」「③感想・気持ち・コメント」「④経験・エピソード」などが挙げられます。

「回転ずし」を例にとると、次のような視点で説明ができます。

【視点①】全体像……………おすし屋さん

【視点②】具体的説明……………すしの皿が回って運ばれてくる

【視点③】感想・気持ち・コメント……………好きなすしを選べるので、楽しく食べられる

【視点④】経験・エピソード……………友達と2人で30皿以上は食べた

食べたお皿の数を数えているのも楽しかった

上記の例を英文でまとめると次のようになります。

① Kaiten-zushi is a sushi restaurant. ② Plates with sushi are delivered to your table. ③ You can choose any sushi you like, so you can enjoy eating. ④ The other day, my friend and I ate more than 30 plates of sushi. Counting the number of the plates we ate was a lot of fun, too!

You Know What?

映画を使った勉強方法①

英語が好きな人や英語の勉強を頑張っている人の中には、洋画のファンになったことがそのきっかけになった人も多くいると思います。また、洋画のファンになったのも、原作のストーリーに魅せられたり、映画の俳優たちに魅力を感じたり、映画の音楽が好きになったりなど、さまざまな理由があると思います。好きなものを通して英語を勉強することができれば長続きするので、気がつけば英語の力が上がっていた、なんてことも経験できます。洋画のファンは、洋画を見ていることが英語の「勉強」だとはあまり意識していないでしょう。楽しんで映画を見ていたら、結果として英語力が向上する、ということはよくあります。

じえいそんさんによると、洋画を使った勉強方法は複数あるとのこと。字幕 (caption/subtitle) と音声はどう組み合わせるかによって、次のようにさまざまな学習が可能になります。

- listening の勉強として ……「音声を英語」にして、「字幕なし」
- listening と reading の勉強として ……「音声を英語」にして、「字幕も英語」
- reading の勉強として ……「音声を日本語」にして、「字幕を英語」

これらの方法は、英語の勉強の目的や現在の英語力などに応じて変えていくとよいでしょう。

字幕や音声を使った勉強方法以外には、俳優が言うカッコいいセリフをそのまま覚えてしまうという方法もあります。例えば、ちょっと古いですが、映画の *The Terminator* では、シュワルツェネッガーが **I'll be back.** と言います。**will** は未来の表現として学習しているかもしれませんが、この場面では「必ず戻ってくる」という強い意志を感じます。**will** は辞書で引くと「単純未来」のほかに「意志」という意味としても載っています。このように、映画のせりふから単語の使い方や文法の意味などを自然と学習できる機会にもなります。好きな俳優が言う決めセリフをぜひ覚えてみてください。